

指定管理者評価シート

事業名	札幌市民ホール運営管理費	所管課(電話番号)	教育委員会総務部生涯学習推進課(211-3871)
-----	--------------	-----------	---------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市民ホール	所在地	中央区大通西1丁目1-6、北1条西1丁目1-7
開設時期	平成20年12月13日	延床面積	5,947.28㎡
目的	市民の学習成果等の発表の場を提供することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与する。		
事業概要	大ホール及び会議室、その他施設の管理運営を行う。		
主要施設	大ホール、会議室(6室)、コンビニエンスストア		
2 指定管理者			
名称	大和リース株式会社 北海道支店		
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、施設使用承認業務、事業計画・実施業務		
3 評価単位	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価																
1 業務の要求水準達成度																			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼札幌市の公の施設として、豊かな生涯学習社会の実現に資するため、適切な運営管理を行うとの方針を策定した。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼市民の公平な利用に供するよう管理運営を行うとの方針を策定し、利用の決定にあたってはホールは毎月、会議室は年2回の抽選会を実施。また、札幌市と指定管理者による優先予約に係る調整会議を引き続き実施。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼電気の使用については、施設利用者の方にもご理解をいただき、不使用個所の消灯、事務室照明の間引きを行うなど、徹底したエネルギーの節約を実施した。	基本方針及び、仕様書、業務計画書通り実施した。 抽選会は例年通りに公平で平等な利用機会を提供できた。また、調整会議の実施により、優先予約の承認について透明性を確保することができた。 利用者のご協力のもと、職員全員で省エネルギーに取り組み環境配慮への意識を高め削減を図った。	<table border="1"> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr> <td colspan="4">仕様書等に基づく適切な管理運営を行い、要求水準を満たす取組を実施していたものと評価する。</td></tr> <tr> <td colspan="4">抽選により公平で平等な利用機会の提供を実施したと認める。また、優先予約は、調整会議において適正な判断のもと承認しており、平等利用の観点から適切な取組を行っているものと認める。</td></tr> <tr> <td colspan="4">日頃から利用者との理解・協力を得ながら、省エネ等の環境に配慮した取組を実施している点について評価する。</td></tr> </table>	A	B	C	D	仕様書等に基づく適切な管理運営を行い、要求水準を満たす取組を実施していたものと評価する。				抽選により公平で平等な利用機会の提供を実施したと認める。また、優先予約は、調整会議において適正な判断のもと承認しており、平等利用の観点から適切な取組を行っているものと認める。				日頃から利用者との理解・協力を得ながら、省エネ等の環境に配慮した取組を実施している点について評価する。			
A	B	C	D																
仕様書等に基づく適切な管理運営を行い、要求水準を満たす取組を実施していたものと評価する。																			
抽選により公平で平等な利用機会の提供を実施したと認める。また、優先予約は、調整会議において適正な判断のもと承認しており、平等利用の観点から適切な取組を行っているものと認める。																			
日頃から利用者との理解・協力を得ながら、省エネ等の環境に配慮した取組を実施している点について評価する。																			

▼事務室のゴミの分別はもちろん、施設利用者の方にも分別やゴミの持ち帰りをお願いし、ごみ排出量の低減に取り組んだ。

▼引き続き館内4箇所に設置している植栽により緑化を推進。館内環境に合う種類の植栽に変更し、より効果的な二酸化炭素の排出量低減に取り組んだ。

▼2022年度より市の予算にて館内照明のLED化を進めていただいており、2024年度は会議室エリア、大ホール女子トイレのLED化を実施。消費電力の縮減を図った。

▼利用者へ配布する際のクリアファイルをプラスチック製から紙製のものへ変更。また、芯なしステープラを採用し、芯やクリップ等のゴミ排出を低減させ、事務消耗品の購入頻度・費用を縮減。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼4月より副館長職の職員を1名新規雇用。責任者は館長1名、副館長2名の3名体制で配置。職員は4名を継続雇用。1月に契約社員1名を新規雇用し配置。新規雇用者には、実務から関係条例等に至るまで各職務に応じた研修・教育を実施。

▼定期的にミーティングを実施し、課題や問題点、注意すべき事項等の情報を共有した。

▼人材育成のため、各種社内研修を実施した。

- ・入社時研修(新規雇用者のみ)
- ・人権啓発研修
- ・防災・減災研修

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼引き続き早番、遅番の引継ぎを徹底し、利用者サービスの向上を図り、事故防止の為の注意喚起情報等を共有した。また、利用者の利用状況等を連絡シートで清掃スタッフへ伝え、業務の効率化と利便性の向上を図った。

▼情報共有の為、メールやメモ以外にも社内用チャットなどの新しいツールを活用し、用途に応じて使い分けることで、さらに情報共有体制の強化を図った。

館内照明のLED化を進めており電力は前年度より約55,900kwhの使用量削減が図れた。また、環境に配慮した事務用品を選定し環境配慮の推進が図れ同時に事務効率も向上した。

環境に配慮した事務用品の選定等の取組により環境配慮の推進が進められていることを認める。今後も引き続き館内LED化や事務用品の選定等により環境へ配慮することを期待する。

責任者と従事者の継続雇用により、安定した管理運営組織を確立することができた。さらに副館長職1名と従事者1名を追加し、より安定した管理運営組織を構築できた。また、ミーティングや各種研修を通じてスキルの向上を図り、利用者サービスの向上に活かすことができた。

管理運営は、安定した組織体制の確立が重要である。副館長職を1名追加し、次年度の館長交代に向けての準備が整えられていたものと判断する。また、ミーティングや研修や人材育成のための各種研修などにも積極的に取り組んでおり、全体のスキルアップに繋がったものと認める。

日常的に情報共有に努め、リスクの低減やサービス向上を図れた。情報共有ツールを増やすことで、共有できる情報量や正確性・業務スピードの向上が図れた。

管理運営に関わる情報共有ツールを改め、体制の強化を図っている点について評価する。引き続き、円滑な情報共有を行い、利用者サービスの向上に努めることを期待する。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼設備維持管理及び舞台管理業務は専門性・ノウハウを必要とするため、第三者委託を活用し、高レベルのサービス提供が適切に実施されたことを確認した。

▼業務委託先から、委託で働く職員の勤務体制や賃金単価等の雇用状況を把握し、適切な監督に努めた。

専門性を有した委託職員から適時、助言や提案を受けることができ、適切に施設や舞台の維持管理を行うことができた。

第三者委託等による提案等に基づき、できる限り市民サービスに支障がでないよう引き続き管理を徹底されたい。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 5月22日	①施設利用状況、収支状況
	②自主事業実施状況
	③改善事項報告
	④アンケート結果について
第2回 11月20日	①施設利用状況、収支状況
	②自主事業実施状況
	③改善事項報告
<協議会メンバー> ・利用者代表 株式会社道新文化事業社 代表取締役社長 公益財団法人札幌スキー連盟 専務理事 YOSAKOIソーラン祭り組織委員会 事務局長 ・有識者代表 NPO法人札幌座くらぶ 理事長 さっぽろ芸術文化研究所 代表 ・札幌市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課長 ・指定管理者 札幌市民ホール 館長 大和リース株式会社北海道支店管理課 課長	

計画通り、半年に1回定期的に運営協議会を開催し、利用状況や自主事業の報告、及び改善事項やアンケート結果の報告を行い、札幌市や関係機関との情報共有を図れた。また、利用者代表や有識者代表より広く意見を募り、有意義な意見交換を行い、運営管理に活かすことができた。運営協議会を通じて運営記録を振り返ることにより、現在のホールの立ち位置の確認や今後の目指すべき方向性を確認する良い機会となった。

運営協議会の適正な時期の実施により、関係者との有意義な情報共有・意見交換を諮れたものと認める。引き続き、利用者の声や有識者の意見などを踏まえて、管理運営水準の維持向上に資するような取組を期待する。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼現金などの取り扱いについては業務計画書に定めた「収入管理の流れ」に従い、適正な管理を行った。

▼現金取り扱いのダブルチェックを日頃から注意喚起し、複数での現金確認の徹底を改めて図った。

業務計画書に従い、適正な管理に努めることができた。また、ダブルチェックによる現金確認を徹底し、現金事故の防止を図ることができた。

適正な管理が行われていたものと認める。安定的かつ効率的な管理運営を確保するため、引き続きダブルチェックによる確認等、適正な点検・確認が行われることを期待する。

	▽ 要望・苦情対応 ▼利用者からの要望・苦情は速やかに館長に情報を集約し、教育委員会に報告・相談した上で、対応・改善を図った。 ▼要望・苦情に対しては、職員全員に周知し情報共有を図りつつ早期解決に向けた対応をスピード感をもって取り組んだ。また、要望・苦情の原因・要因を根本から検討し再発防止を図った。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼利用者から寄せられた要望・苦情は職員に周知し、適切に記録・セルフモニタリングを実施した。 ▼利用者アンケートを実施し、その結果を適切に記録し職員に周知した。今回からQRコードを活用したアンケート収集も併用し、より広く要望・ご意見の収集に努めた。 ▼札幌市への事業報告、検査等には、事前準備のうえ適切に対応した。自己評価も適切に実施した。	利用者からの要望に関しては、可能なものは迅速に対応し、利用者に寄り添ったサービスの提供を実施することができた。苦情への対応は、館長を中心として、設備や舞台担当と密に連携をとって問題解決を図ることができた。また、迅速に再発防止策を講じ、利用者サービスの向上を図れた。 利用者サービスや施設の改善に繋がる記録やセルフモニタリングを実施できた。事業報告や札幌市の検査等へも適切に対応できた。	要望・苦情等に対して、迅速かつ適切に対応しているものと評価する。引き続き、職員間での役割分担・連携により対応していくとともに、苦情に対しては再発防止等を徹底されたい。 セルフモニタリング・事業報告・各種検査等、サービス向上に資する効果的な取組を実施しており、適切に対応しているものと認める。								
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼三六協定等関係法令を遵守するよう努めるとともに、引き続き職員の希望する休日をシフトに活かし、雇用環境維持向上に取り組んだ。また、職員の体調や疲労具合にも目を配り、決して無理をさせないよう配慮して柔軟にシフトを管理し業務に集中できる環境づくりに注力した。 ▼職員の時間外勤務や有給休暇の取得状況を把握し、適切な人員確保と配置に努めた。 ▼再委託事業についても、委託先事業者に対し、適切な労働環境である旨を確認した。 ▼業務・財務検査において、令和6年4月1日以降に契約締結・雇用開始した職員の労働条件通知書に、就業場所・業務内容の変更の範囲について記載が漏れているとの助言を受けた。これを受け、全社で労働条件通知書の統一を諮り、改善した。	法令遵守を徹底しつつ、職員の働き甲斐向上やモチベーションの低下を防止する取り組みにより、労働環境の向上を図ることができ、業務中の事故や怪我の発生は無く、雇用環境の維持向上を図れた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 業務中の事故や怪我の発生が無かった点について評価する。労働基準法施行規則等の改正に伴い、一部職員の労働条件の明示事項について労働条件通知書に記載漏れがあったものの、速やかな是正が行われた。引き続き、法令順守を徹底するとともに、職員の様子に目を向けて柔軟に休日を取得する等、雇用環境維持向上に向けた取組みに期待する。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	業務中の事故や怪我の発生が無かった点について評価する。労働基準法施行規則等の改正に伴い、一部職員の労働条件の明示事項について労働条件通知書に記載漏れがあったものの、速やかな是正が行われた。引き続き、法令順守を徹底するとともに、職員の様子に目を向けて柔軟に休日を取得する等、雇用環境維持向上に向けた取組みに期待する。			
A	B	C	D								
業務中の事故や怪我の発生が無かった点について評価する。労働基準法施行規則等の改正に伴い、一部職員の労働条件の明示事項について労働条件通知書に記載漏れがあったものの、速やかな是正が行われた。引き続き、法令順守を徹底するとともに、職員の様子に目を向けて柔軟に休日を取得する等、雇用環境維持向上に向けた取組みに期待する。											

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	▼利用者、来館者の安全を最優先に心がけ業務を遂行し、事故防止に努めた。 ▼事故・事件、苦情などの発生時には、教育委員会へ報告・相談を行い、業務計画書に従い速やかに対応した。また、警察などの各関係先とも連携し、事件・事故の防止に努めた。 ▼例年通り緊急連絡網を作成し、事務室内に掲示と職員への周知を行い連絡体制の確保に努めた。また、社内チャット等を活用し、よりスピード感のある連絡体制の確保に努めた。 ▼仕様書に従い、公立文化施設賠償責任保険や貸館対応興行中止保険等に参加し、リスク管理に努めた。	利用者・来館者の安全を最優先に業務を遂行でき、事故を未然に防ぐことができた。 緊急連絡網の再整備や各種保険加入など、万が一に備える体制・環境を整えることができた。また、連絡体制の強化・充実を図り、より安心して働ける環境づくりを構築できた。	利用者等の安全確保を第一に優先し、利用者サービスの向上に資する取組を実施している点について評価する。 今後も万が一に備えた体制・環境の維持を構築することを徹底されたい。
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼施設の維持管理や保守点検は、仕様書や業務計画書に基づき委託先の協力を得て実施した。保守点検により判明した不具合等は、緊急性や優先順位を慎重に検討して計画的に修繕や交換を実施した。 ▼備品管理は、各担当(受付・舞台・設備管理)からの不具合報告により迅速に対応した。年1回在庫点検を行い、管理簿を整備し、備品の適切な使用と管理に努めた。 ▼舞台機構の修繕(インバーター交換、一文字ボタン蝶番交換、反響板ベルトスリング交換)を実施し安全に舞台運営が図れるよう努めた。 ▼駐車場管理の運用ルールを見直し、会議室利用者の利便性が向上する取り組みを図った。	日常点検や定期点検を確実に実施して、不具合箇所の早期発見を図ることができた。大ホールの方である舞台機構の修繕は、舞台担当者と情報を密にしスピード感をもって対応することで安全なホール運営を図ることができた。また、駐車場管理では利用者に寄り添った運用ルールの改善を図れた。	日常点検、定期点検等の結果を踏まえて、施設及び設備全般の機能が良好となるよう、不具合箇所の早期発見・修繕を実施しており、評価する。 引き続き教育委員会への随時報告等を行い、快適な施設環境を保ち、利用者に支障が生じることがないよう留意されたい。
	▽ 防災 ▼仕様書及び業務計画書に基づき、消防避難訓練(年2回)とAED講習(年1回)を実施した。 ▼臨機応変に行動できるよう、消防避難訓練では都度、役割・配置を変えて実施した。また、観客役も配置し、よりリアリティを増した訓練に取り組んだ。 ▼日常的に館内を巡回し、避難動線の確保確認、その他異常・危険が無いかなど、防災に努めた。	消防避難訓練とAED講習は例年通り実施し、防災意識の向上及び緊急時対応のスキル向上が図れた。また、日常巡回において事故・災害リスクを事前に回避する取り組みを行うことにより、事故・災害を未然に防止できた。	日常巡回において、事故・災害を未然に防止できている点について評価する。今後も様々な災害に対して迅速かつ的確な対応ができるよう、日頃から訓練等を行い、利用者、職員等の安全確保を徹底するよう留意されたい。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 仕様書上当該業務なし								A	B	C	D
									非該当			
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等								A	B	C	D
			R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績							
	大ホール	件数(件)	845	800	786							
		人数(人)	406,331	350,000	319,918							
		稼働率(%)	78.2	74.3	73.0							
	会議室	件数(件)	5,198	5,000	4,847							
		人数(人)	89,869	85,000	75,838							
		稼働率(%)	80.2	77.4	75.0							
	▽ 不承認 0件、 取消し 0件、 減免 0件、 還付 0件											
	▽ 利用促進の取組											
▼2019年度から導入している大ホールの直前割引制度を継続して実施。本年度は16件の申込みがあった。												
▼10月から会議室全室の空室状況をホームページで確認できるように整備し、申込みしやすい環境づくりを図った。※大ホールの空室状況は元々整備済み												
▼ホールのルールや注意事項等をわかりやすくまとめた資料を主催者との打合せ時に配布実施。主催者がホールのルールや注意事項を理解しやすくすることで、利用時の運営がよりスムーズになるような改善を図り、リピーター率向上の為の取り組みを行った。												
				コロナ禍明けの前年度と比較すると、全ての項目で下回る結果となったが、依然として高稼働で推移している。次年度から料金改定となる為、その影響がどの程度になるのか予測しにくい部分はあるが、利用者サービスを充実させて利用促進に努めたい。				市内の教育文化会館の大規模改修工事が終了し再開館したことで、多少の利用者減少は見られているようだが、依然として高稼働率であることを評価する。今後料金改定という新たな要素が加わることで稼働率の予測がしづらいところではあるが、可能な限りこれまでの水準が維持できるよう期待する。				
				直前割引制度の利用者が演奏会を当ホールで開催することもあり、相乗効果で利用促進を図れた。また、ホームページで会議室の空室状況が確認できるようになり利便性が向上し利用促進を図れた。他、極力費用をかけない工夫・改善などで、利用者の利便性が向上する取組を実施し、利用促進を図れた。				独自の取組(直前割引制度)の成果により利用促進が図れている。また、ホームページでは、大ホールに続き会議室の利用状況も可視化できるようになったことで、利便性が向上していることを評価する。今後も利用促進に繋がるような工夫・改善に期待する。				

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼引き続きホームページの公演情報やホール・会議室の空室状況、ホールのトピックスを更新し広く情報を周知した。 ▼ホームページのセキュリティ強化を目的として、SSLサーバ証明書を2019年度取得した。全てのページを暗号化(SSL)し、不正アクセスの防止を図った。 ▼ウェブアクセシビリティ取組確認を実施し、2024年3月26日に公開した。 ▼2019年度に開設したX(旧Twitter)のツイート、リツイートを活発に行い、ホール情報や公演情報の発信に努めた。	公演情報やホールトピックスなど最新情報を適時、周知することができた。 2025年4月の料金改定に関する情報もホームページや館内掲示等で事前に広く周知できスムーズに改定料金への移行が図れた。 X(旧Twitter)のフォロワー数も2025年3月31日時点で1,231となり、広報活動を図るツールとして定着することができた。	施設のPRや最新情報などについて、ホームページの更新やX(旧Twitter)の発信等を通じた広報活動を適宜行っていることを評価する。 令和7年度の料金改定に向けた事前周知についても適宜教育委員会と情報共有できていた。 引き続き、ホールの利用率増加につながるよう、継続した広報活動に期待する。
	▽ 引継ぎ業務 (前年から維持指定のため、引継ぎ業務なし)		
2 自主事業その他			
▽ 自主事業 ▼実施件数5回(大ホール1回、会議室4回) 【大ホール】 リアル恐竜ショー 恐竜パーク ※4回公演 【会議室】 岩渕真奈さんトークセッション～パリオリンピックの展望～ コミュニケーションの切り札を身につけよう！ 登壇者：植松侑子 トークイベント中貝宗治 深さを持った演劇のまちづくりの現在と未来 落合陽一氏講演会 『デジタルネイチャーと未来の社会』 《共催》 ACF札幌芸術文化フォーラム A-bank北海道 道新文化事業社	「札幌市民のmiraiのために」をコンセプトに『札幌mirai塾』を計画に則り実施できた。 親子や女性をターゲットにしたイベントや興味をそそられるような多様なイベントを市民の皆様に提供することができた。特に落合陽一さんを招いての講演会はBiVi新さっぽろの『BiVi Park』との連動企画として多くの方々が関心を寄せるイベントを開催できた。	A B C D 計画に則って多様な事業を実施できていたことを認める。また、他との連動企画を行い、多くの市民の関心を引き寄せたことを評価する。	
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼施設の修繕工事等については、札幌市内の当社協力会社を積極的に活用した。			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	期間: 令和6年11月 利用主催者にアンケート用紙を配布して、主催者と一般利用者に回答をお願いした。今回よりQRコードを活用したアンケート収集も実験的に実施した。また、一般の利用者に向けてカウンターにポストを設置し、常時、感想・意見を受け付けた。	アンケートは1,482件と多くの方から回答をいただいた。満足度は例年通り高い水準を維持しており、利用者の満足度が高い状態の維持を図れた。また、いただいたご意見の6割以上は感謝やお礼、清掃状態の良さ等、施設の管理状況や接遇対応を評価する内容であった。QRコードを活用したアンケートでは若い世代からの回答が多く、より幅広い年代からのご意見・要望を収集することができた。	A	B	C	D
結果概要	回答数: 目標1,000件に対し、1,482件(内QRコードによる回答171件) ①総合満足度 97.1%(目標80%) ②接遇に関する満足度 99.3%(目標80%) ③利用しやすさに対する満足度 97.8%(目標70%)		アンケートの全ての項目において目標を10ポイント以上上回る結果となっており、利用者の満足度が非常に高い状態を維持しており、職員の努力が感じられる。また、今回よりQRコードでの回答も可能としたことで、より幅広い利用者からの回答を収集するための工夫を行っている点について評価する。引き続き、利用者の意見要望の声を踏まえながら、満足度の維持・向上につながる取組に期待する。			
利用者からの意見・要望とその対応	【意見】 申込手続きに関する改善要望(Web予約や簡略化等) 【対応】 予約システムの導入も含め総合的に検討を進める。利用者にとっての利便性・公平性を考慮して本当に必要なシステム・運用を改めて検討する。					

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	185,402	208,187	22,785
指定管理業務収入	166,900	189,665	22,765
指定管理費	32,900	32,900	0
利用料金	99,008	100,389	1,381
その他	34,992	56,376	21,384
自主事業収入	18,502	18,521	19
支出	183,802	177,003	▲ 6,799
指定管理業務支出	171,722	164,996	▲ 6,726
自主事業支出	12,080	12,006	▲ 74
収入-支出	1,600	31,184	29,584
利益還元	1,000	710	▲ 290
法人税等	0	0	0
純利益	600	30,474	29,874

▽ 説明

▼ 利益還元内容

自主事業が計画通り実施できたことから、以下の通り利益還元を行った。

- ①第5第6会議室のイス36脚を更新 395,502円
- ②1階楽屋廊下床面の張り替え工事 314,556円

▼ 収入その他

光熱費高騰による補填金含む。

▼ 他、主な実施事項

- ①ホワイエ水飲み器プッシュボタンカートリッジ交換
- ②新紙幣対応入金機に更新
- ③3階男子トイレ洗面の電気温水器修理
- ④2階多目的トイレ洗面電気温水器ユニット取替
- ⑤貸出用プロジェクターレンズ交換修理
- ⑥中央監視装置UPS交換工事
- ⑦花時計オイルポンプ交換
- ⑧コンビニエンスストア自動ドアモーター交換工事
- ⑨防火シャッターバッテリー交換工事
- ⑩増圧給水ポンプ修繕工事

今年度は、収入が光熱費の高騰による補填金(15,541千円)もあり計画よりも数値が増えているが、補填金を除けば計画通りの実績となっている。支出は電気料金が過去の使用実績から最新の電気料金単価で見込み計算を行っていたが、想定していた使用実績よりも少ない数値となっている。その要因としては、一部エリアの照明をLED化に変更したことによる節電対策が実を結んだ結果といえる。引き続き節電対策とそれ以外にも計画的に設備補修・修繕、備品の購入等を行い費用を抑えていく。また、今年も充実した利益還元を行うことができた。施設内の不具合や老朽化が増え、具体的には楽屋床下の改修や会議室のイスの更新を行いより使いやすい施設の運営につなげることができた。

A B C D
物価高騰による光熱費の補填額を除外すると収入はおおむね計画通りであり、支出は計画より減少しており、計画以上の実績となった点について評価する。さらに、利益還元や施設修繕なども実施している。引き続き利用者が安心・安全に施設を利用できる環境を整備していくよう期待する。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼当企業の財務状況等は良好である。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。

▼情報公開請求は無かった。

▼オンブズマン対応は無かった。

▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
・2024年度の利用状況は、コロナ禍明けの前年度には及ばないまでも、日利用率は大ホール80.8%、会議室94.8%と依然として高い利用率で推移し、当ホールの設置目的となる市民の生涯学習発表の場の提供に加え、文化芸術の振興という面からもその役割を果たせたものと捉えている。 ・開設から16年が経過した施設は、補修箇所が徐々に増えているが、委託企業の協力を得て可能な部分の修繕対応を行ったほか、教育委員会には緊急性の伴う修繕箇所について相談しながら計画的な修繕要望を提出するなど、施設の維持管理業務を適切に遂行できたものと思う。 ・総合的には、開設期からこれまでの経験を活かした安定的なホール運営が継続できたことで、多くの市民に安全・安心にご利用いただけたことや、アンケートの満足度が目標値を大きく上回るなど、一定の成果が得られたものと考えます。	・次年度についてもアンケートの意見等を踏まえ、利用者目線に立った市民サービスを心掛けることは勿論のこと、より一層、安心・安全にご利用いただける市民ホールを目指した施設運営に取り組んでいく。 ・補修箇所が増えつつある施設のハード面については、利用者の安全を第一に考えた維持管理を徹底するとともに、教育委員会へも計画的な修繕提案をし、施設の長寿命化を図るよう鋭意努力する。 ・また、市民の生涯学習発表の場の提供、自主事業となる「札幌みらい塾」の企画・開催を含め、地域における文化芸術活動の普及に積極的に取り組む。 ・近年では、特定天井改修などの懸案事項があるが、今後も教育委員会と情報共有を図り、状況の推移を把握したうえで、利用者に支障のない管理運営に努める。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
2024年度は、日利用率の高推移を維持するなど、これまでの経験を生かした安定的な運営を行ったことで、いずれの業務においても要求水準を満たす取組を実施できたことを評価する。特に、利用者からの満足度は要求を大きく上回る高い水準を維持しており、企業努力の賜物として非常に評価できる。 市民ホールは、開館から16年が経過し、補修箇所が増えているため、施設の安定的運営を継続するために、引き続き教育委員会と指定管理者が互いに協議しながら不具合箇所の早期発見・修繕を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。 今後も各種法令を遵守するとともに、丁寧な接客や、直前割引制度など、利用者に配慮した対応や利用者数・利用率の向上に向けた取組等を引き続き行い、利用者サービスの水準の維持向上に務めることを期待する。	業務検査において、一部職員の労働条件通知書における記載事項の漏れ(令和6年4月1日施行の労働基準法改正に伴うもの)が判明したため、関係法令を確認の上、対応するよう助言。その後、速やかな是正が行われた。